



平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年2月8日

上場会社名 株式会社 河合楽器製作所
 コード番号 7952 URL <http://www.kawai.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 総合企画部長
 四半期報告書提出予定日 平成23年2月10日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 河合 弘隆

(氏名) 金子 和裕

TEL 053-457-1227

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	44,420	9.4	2,257	32.0	1,835	17.4	1,081	△13.5
22年3月期第3四半期	40,588	△17.9	1,710	36.3	1,563	282.2	1,251	987.8

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	12.65	—
22年3月期第3四半期	14.63	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	37,712	12,996	34.5	151.96
22年3月期	37,911	12,555	33.1	146.81

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 12,996百万円 22年3月期 12,555百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0.00	—	2.50	2.50
23年3月期	—	0.00	—	—	—
23年3月期 (予想)	—	—	—	2.50	2.50

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	59,000	5.2	2,400	14.3	1,950	1.1	1,350	2.3	15.79

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】3ページ「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
- ② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	23年3月期3Q	85,610,608株	22年3月期	85,610,608株
② 期末自己株式数	23年3月期3Q	87,587株	22年3月期	84,517株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	23年3月期3Q	85,523,921株	22年3月期3Q	85,528,785株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
(7) 重要な後発事象	11

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の当社グループの売上高は、楽器販売の増加や素材加工事業の受注増加により44,420百万円（前年同期比3,832百万円増）となりました。このうち、国内売上高は32,718百万円（前年同期比2,801百万円増）、海外売上高は11,701百万円（前年同期比1,031百万円増）となりました。

損益につきましては、売上高の増加に加え楽器事業における原価低減により、営業利益は2,257百万円（前年同期比547百万円増益）となり、経常利益は為替差損等の影響もあり、1,835百万円（前年同期比272百万円増益）となりました。四半期純利益は、特別損失として資産除去債務会計基準適用に伴う影響額を計上したことにより、1,081百万円（前年同期比170百万円減益）となりました。

セグメント毎の状況は、楽器事業は、国内においては直営販売における楽器販売・調律・音楽教室の三位一体の取り組みが効果を発揮するとともに、卸販売における電子ピアノも大幅に増加し、売上高が増加しました。海外においては、円高による為替影響がありましたが、欧米市場はピアノ、電子ピアノの販売が伸長したことにより売上高が増加し、中国市場はピアノの販売が大幅に増加しました。この結果、楽器事業の売上高は20,138百万円（前年同期比1,223百万円増）となり、売上高の増加に加え原価低減もあり、営業利益は797百万円（前年同期比566百万円増益）となりました。

教育関連事業は、体育教室は堅調でしたが、音楽教室の生徒数減少により、売上高は13,531百万円（前年同期比38百万円減）、営業利益は1,103百万円（前年同期比138百万円減益）となりました。

素材加工事業は、金属事業の受注増加により、売上高は8,676百万円（前年同期比2,540百万円増）、営業利益は618百万円（前年同期比189百万円増益）となりました。

情報関連事業は、IT機器の受注増加により、売上高は1,919百万円（前年同期比108百万円増）となりましたが、原価率の上昇により、営業損失は63百万円（前年同期比33百万円減益）となりました。

その他の事業の売上高は153百万円（前年同期比3百万円減）となり、営業損失は22百万円（前年同期比31百万円減益）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債、純資産に関する分析)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、売掛金の減少などにより、37,712百万円（前期末比199百万円の減少）となりました。負債合計は、借入金金の減少などがあり、24,716百万円（前期末比639百万円の減少）となりました。

純資産合計は、12,996百万円（前期末比441百万円の増加）となりました。

(キャッシュ・フローに関する分析)

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、7,618百万円（前期末比1,515百万円の増加）となりました。当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は、以下のとおりです。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益1,431百万円、売上債権の減少426百万円などがあり、3,493百万円の資金増加（前年同期は3,129百万円の資金増加）となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得に643百万円の資金を使用したなどの結果、435百万円の資金減少（前年同期は1,747百万円の資金減少）となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金金の返済に1,440百万円の資金を使用したなどの結果、1,454百万円の資金減少（前年同期は431百万円の資金減少）となりました。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

平成23年3月期の連結業績予想につきましては、平成22年11月9日に公表いたしました業績予想から変更しておりません。

2. その他の情報

（1）重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

（2）簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

（簡便な会計処理）

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理）

該当事項はありません。

（3）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

「資産除去債務に関する会計基準」等の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、営業利益及び経常利益が2百万円減少、税金等調整前四半期純利益が547百万円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は679百万円であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,769	6,354
受取手形及び売掛金	4,266	4,877
有価証券	89	160
商品及び製品	3,434	3,289
仕掛品	1,273	1,262
原材料及び貯蔵品	1,225	1,341
その他	967	1,192
貸倒引当金	△243	△281
流動資産合計	18,784	18,195
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,437	5,586
機械装置及び運搬具（純額）	2,369	1,921
土地	6,007	6,034
その他（純額）	900	1,550
有形固定資産合計	14,714	15,093
無形固定資産	962	1,211
投資その他の資産		
繰延税金資産	599	597
その他	2,756	2,934
貸倒引当金	△103	△121
投資その他の資産合計	3,251	3,410
固定資産合計	18,928	19,715
資産合計	37,712	37,911
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,344	3,672
短期借入金	3,378	3,660
1年内償還予定の社債	225	225
未払法人税等	242	381
賞与引当金	256	866
製品保証引当金	45	51
拠点統合引当金	4	53
その他	4,197	3,835
流動負債合計	11,694	12,748
固定負債		
社債	—	112
長期借入金	3,077	3,582
退職給付引当金	8,612	7,967
環境対策引当金	44	44
資産除去債務	666	—
その他	620	900
固定負債合計	13,021	12,607
負債合計	24,716	25,355

(単位:百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,609	6,609
資本剰余金	744	744
利益剰余金	7,024	6,207
自己株式	△14	△13
株主資本合計	14,364	13,548
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	131	150
為替換算調整勘定	△1,500	△1,143
評価・換算差額等合計	△1,368	△992
純資産合計	12,996	12,555
負債純資産合計	37,712	37,911

(2) 四半期連結損益計算書
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	40,588	44,420
売上原価	29,924	32,868
割賦販売未実現利益戻入額	0	—
売上総利益	10,664	11,551
販売費及び一般管理費		
給料手当及び賞与	3,785	3,937
賞与引当金繰入額	112	150
退職給付引当金繰入額	363	347
その他	4,691	4,858
販売費及び一般管理費合計	8,953	9,294
営業利益	1,710	2,257
営業外収益		
固定資産賃貸料	44	44
為替差益	36	—
持分法による投資利益	40	—
その他	110	88
営業外収益合計	232	132
営業外費用		
支払利息	181	134
為替差損	—	268
持分法による投資損失	—	3
その他	198	148
営業外費用合計	379	554
経常利益	1,563	1,835
特別利益		
貸倒引当金戻入額	14	17
拠点統合引当金戻入額	—	33
補助金収入	100	67
その他	2	27
特別利益合計	116	146
特別損失		
固定資産除却損	19	4
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	544
その他	—	1
特別損失合計	19	550
税金等調整前四半期純利益	1,660	1,431
法人税、住民税及び事業税	271	342
法人税等調整額	137	6
法人税等合計	409	349
少数株主損益調整前四半期純利益	—	1,081
四半期純利益	1,251	1,081

【第3四半期連結会計期間】

（単位：百万円）

	前第3四半期連結会計期間 （自平成21年10月1日 至平成21年12月31日）	当第3四半期連結会計期間 （自平成22年10月1日 至平成22年12月31日）
売上高	15,047	15,390
売上原価	10,935	11,349
売上総利益	4,111	4,040
販売費及び一般管理費		
給料手当及び賞与	1,200	1,180
賞与引当金繰入額	112	150
退職給付引当金繰入額	121	116
その他	1,599	1,653
販売費及び一般管理費合計	3,034	3,101
営業利益	1,077	939
営業外収益		
固定資産賃貸料	15	13
為替差益	63	—
持分法による投資利益	29	9
その他	19	25
営業外収益合計	127	47
営業外費用		
支払利息	58	40
為替差損	—	31
その他	60	45
営業外費用合計	119	117
経常利益	1,085	870
特別利益		
投資有価証券売却益	—	26
貸倒引当金戻入額	1	△2
補助金収入	1	67
その他	0	0
特別利益合計	3	91
特別損失		
固定資産除却損	8	2
特別損失合計	8	2
税金等調整前四半期純利益	1,080	959
法人税、住民税及び事業税	91	131
法人税等調整額	9	7
法人税等合計	100	139
少数株主損益調整前四半期純利益	—	820
四半期純利益	979	820

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,660	1,431
減価償却費	1,331	1,339
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	544
長期前払費用償却額	17	13
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	45	△26
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	551	646
拠点統合引当金の増減額 (△は減少)	△35	△48
受取利息及び受取配当金	△26	△25
支払利息	181	134
持分法による投資損益 (△は益)	△40	3
固定資産除却損	19	4
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△26
売上債権の増減額 (△は増加)	△900	426
たな卸資産の増減額 (△は増加)	878	△310
仕入債務の増減額 (△は減少)	991	△86
未払退職金の増減額 (△は減少)	△1,034	△1
その他	△313	△100
小計	3,327	3,917
法人税等の支払額	△198	△424
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,129	3,493
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額 (△は増加)	196	85
有価証券の売却による収入	50	—
有形固定資産の取得による支出	△2,058	△643
有形固定資産の売却による収入	11	10
固定資産の除却による支出	—	△8
投資有価証券の取得による支出	△8	△72
投資有価証券の売却及び償還による収入	—	161
利息及び配当金の受取額	24	25
長期前払費用の取得による支出	△6	△3
その他	43	9
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,747	△435
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△838	△310
リース債務の返済による支出	△65	△39
長期借入れによる収入	2,200	1,002
長期借入金の返済による支出	△1,114	△1,440
社債の償還による支出	△112	△112
配当金の支払額	△127	△210
自己株式の取得による支出	△0	△0
利息の支払額	△179	△128
設備関係割賦債務の返済による支出	△192	△215
財務活動によるキャッシュ・フロー	△431	△1,454
現金及び現金同等物に係る換算差額	53	△88
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,003	1,514
現金及び現金同等物の期首残高	4,562	6,103
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,566	7,618

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

（単位：百万円）

	楽器事業	教育関連事業	素材加工事業	情報関連事業	その他の事業	計	消去又は 全社	連結
売上高								
(1) 外部顧客に対する売上高	18,915	13,569	6,136	1,811	156	40,588	—	40,588
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	4	0	—	294	250	548	(548)	—
計	18,919	13,569	6,136	2,105	406	41,137	(548)	40,588
営業利益（△営業損失）	231	1,241	429	△30	9	1,881	(170)	1,710

(注) 1. 事業区分の方法

事業区分は製品の種類、製造方法、販売市場の類似性を考慮して区分しております。

2. 各事業区分の主要製品等

事業区分	主要製品等
楽器事業	ピアノ、電子楽器、管弦打楽器、楽器付属品、楽器玩具、楽器調律・修理
教育関連事業	音楽・体育教室、教材販売、楽譜、音楽教育用ソフト
素材加工事業	電子電気部品用金属材料加工、自動車部品用材料加工、防音室・音響部材
情報関連事業	OA機器販売・保守及びコンピュータソフトウェアの販売
その他の事業	金融関連事業、保険代理店事業、その他

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

（単位：百万円）

	日本	北米	欧州	その他	計	消去又は 全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	33,237	3,188	1,682	2,478	40,588	—	40,588
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,472	1	26	2,512	6,012	(6,012)	—
計	36,709	3,190	1,709	4,990	46,600	(6,012)	40,588
営業利益	1,784	105	12	265	2,169	(458)	1,710

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 日本以外の区分に属する国又は地域

(1) 北米……………アメリカ、カナダ

(2) 欧州……………ドイツ

(3) その他……………オーストラリア、ニュージーランド、インドネシア、中国

【海外売上高】

前第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）（単位：百万円）

	北米	その他	計
I. 海外売上高	3,990	6,680	10,670
II. 連結売上高	—	—	40,588
III. 連結売上高に占める 海外売上高の割合（%）	9.8	16.5	26.3

- (注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。
 2. 日本以外の区分に属する国又は地域
 (1) 北米……アメリカ、カナダ
 (2) その他……欧州、中国、オーストラリア、東アジア、東南アジア、その他
 3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、常務会等で経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は製品・サービスの類似性を考慮したセグメントから構成されており、「楽器事業」、「教育関連事業」、「素材加工事業」及び「情報関連事業」の4つを報告セグメントとしております。

「楽器事業」は、楽器の製造販売及び楽器の調律・修理をしております。「教育関連事業」は、音楽教室・体育教室の運営、教材・楽譜・音楽教育用ソフトの製造及び販売をしております。「素材加工事業」は電子電気部品用金属材料加工、自動車部品用材料加工、防音室・音響部材の製造及び販売をしております。「情報関連事業」は、情報関連機器の販売・保守及びコンピュータソフトウェアの開発・販売をしております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至 平成22年12月31日）（単位：百万円）

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 3
	楽器	教育 関連	素材 加工	情報 関連	計				
売上高									
外部顧客への売上高	20,138	13,531	8,676	1,919	44,266	153	44,420	—	44,420
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1	0	—	313	315	232	547	△547	—
計	20,139	13,532	8,676	2,232	44,581	385	44,967	△547	44,420
セグメント利益又は 損失(△)	797	1,103	618	△63	2,456	△22	2,433	△176	2,257

- (注) 1. 「その他」区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理店事業等を含んでおります。
 2. セグメント利益又は損失の調整額△176百万円には、セグメント間取引消去65百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△241百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
 3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

（追加情報）

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（7）重要な後発事象

該当事項はありません。